

環境で地方を元気にする  
地域循環共生圏づくりプラットフォーム事業

**成果報告会 発表資料**

活動団体名：エーゼロ株式会社

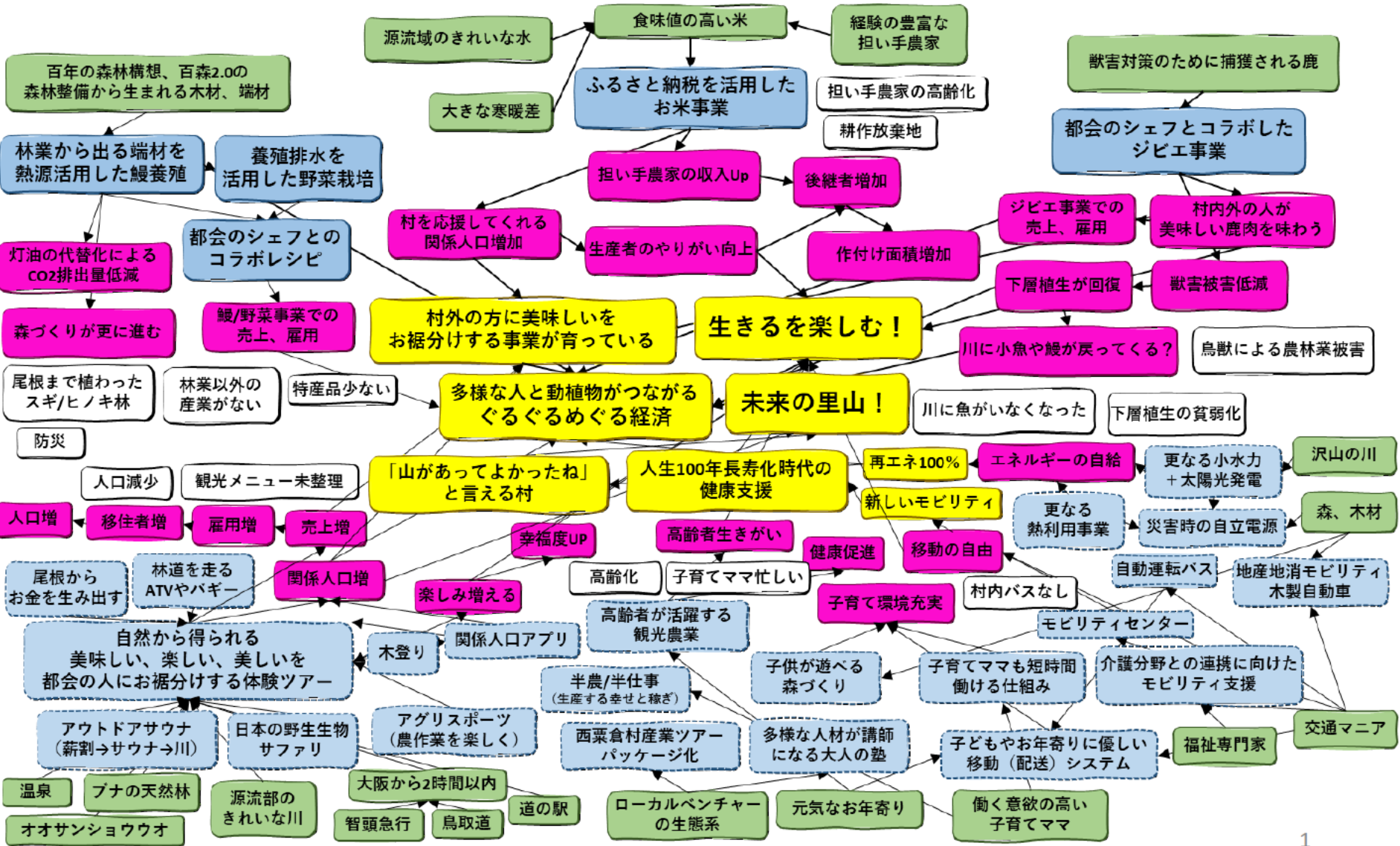
活動地域：岡山県 西粟倉村

ぐるぐるめぐる世界を創るベンチャー事業

# 地域循環共生圏を活用して目指す地域の姿

ビジョン 効果 地域課題 地域資源

事業（事業主体：エーゼロ） 事業（事業主体：未定）



# 地域のビジョンを実現するための成果指標

## 多様な人と動植物が繋がっている“ぐるぐるめぐる経済”

- ・西粟倉の自然を通じ、村民が生きるを楽しんでいる
- ・村外の方に美味しいをお裾分けする事業が育っている

### 短期目標

### 長期目標

#### 環境

ふるさと納税での米の流通量 1,000俵

村内 米作付け面接 40%増加

獣害対策で捕まえる鹿の買取り 600頭

鳥獣による農林業被害 30%減

#### 経済

高付加価値の鹿肉商品開発 3品

地域の自然から生む特産食品 5品目

端材を熱源利用した鰻養殖の売上 23百万円

多様な自然資本事業の売上 3億円

#### 社会

米を出荷する生産者数 50人

米を出荷する生産者数 70人（後継ぎできる）

ふるさと納税寄付者数 6,000人

村を応援してくれる関係人口ストック 1,500人

# コアとなる事業の概要3つ（事業のタネ）

1	事業の名称	<b>ふるさと納税 お米事業（実施主体：エーゼロ株式会社）</b>	
	事業の概要	<p>村内のお米を買い集め、ふるさと納税の返礼品として提供する事業。</p> <p>源流域の澄んだ水があり、寒暖の差が激しい西粟倉村では、美味しいお米が生産されているが、他地域のお米と混ぜて安値で販売されている。また、担い手農家は後継ぎ探しの課題を抱えている。</p> <p>西粟倉村はふるさと納税で関係人口を増やしたいが、返礼品となるものが少なかった。</p>	<p>想定される課題・ボトルネック</p> <p>お米を保管する場所がない</p>
2	事業の名称	<b>森のうなぎ事業（実施主体：エーゼロ株式会社）</b>	
	事業の概要	<p>間伐から生まれる端材を熱源利用した鰻養殖は小規模生産であること、鰻の資源課題に取り組んでいる事から、池上げ尾数は限られている。</p> <p>これまでの卸販売は止め、西粟倉村を訪問して下さった方に最高の鰻重を提供する事、ふるさと納税で西粟倉村を応援して下さっている方に地域の伝統の山椒鰻を送る事、東京で志を応援してくれている老舗鰻屋で鰻重を提供する事にする。</p>	<p>想定される課題・ボトルネック</p> <p>西粟倉村まで鰻を食べに来てくれる人の集客（500人/年）</p> <p>ふるさと納税及び通販での森のうなぎの受注（6500尾）</p>
3	事業の名称	<b>森のジビエ事業（実施主体：エーゼロ株式会社）</b>	
	事業の概要	<p>森林整備を進めているが、鹿害により未来の森が育たない。また、下層植生の貧弱化から、土壌有機層の減少や川の生物量の減少が疑われている。</p> <p>都会の一流シェフ達とのコラボレーションにより、鹿肉の美味しさを発見し伝える事で、獣害対策の促進と未来の森、川づくりを目指す。</p>	<p>想定される課題・ボトルネック</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・売れ残ってしまう部位（外モモなど）</li> <li>・解体/加工作業にかかる工数</li> </ul>

# 今年度事業の成果と課題、今後の意気込み

## 今年度の成果

(本事業に取り組んで良かったこと)

- 村長、役場職員、農家、ベンチャー事業を行う移住者、都会の一流シェフなど、これまで一同に会した事のないメンバーが集まり、地域のビジョンの事や、自然資源を活用した食や体験事業の事を話合う事が出来た。
- 自社の事業と地域の環境、社内、経済との関わりを整理する事が出来た。
- 事務局の方々や分科会の専門家の方々が、親身になって相談に乗って下さり、自社のメンバーだけでは解決策が見えなかった諸課題について、次の一歩が見えた。

## 今後の意気込み

- 4月から、循環を体験できる“森のうなぎ屋”を開店する！
- 4月から、開発中の鰻商品と鹿肉商品の販売を開始する！！
- 7月までに、1000俵のお米を保管する倉庫を確保する！！！！
- 将来的には、地域の自然体験事業を行う！！！！

## 地域の活動の上での課題

- エーゼロは一民間企業なので、描いたマンダラ図は村や地域の正式なものにはならない
- 変化のスピードが速いベンチャー事業において、関わるステークホルダーも変わっていく
- 長期目標には、自社が直接コントロールできずに間接的に影響を与えるものが含まれているため、不確実性がある。

例) お米事業の売上向上 → 作付け面積増加  
ジビエ事業の鹿買取増加 → 獣害被害低減